

上溝南高等学校において物流出前授業を実施しました

10月3日（火）県立上溝南高等学校において、高校生に対しトラック運送業界に興味をもってもらうことを目的とした体験型の「物流出前授業」（経営改善委員会所管）を実施しました。

当日は、地元の会員事業者も参加し、48名の生徒を対象に実施され、西脇委員（西脇輸送産業(有)）より挨拶がされた後、トラック運送業界の役割や重要性、本年3月に道路交通法が改正されたことで新設された準中型免許について説明がされました。

次いで、中型ウイング車・中型平ボディ、準中型バンの計3台のトラック運転席に生徒が試乗し、死角やトラック構造の説明を受けたほか、営業所との無線連絡を体験するなど、実際のトラック運送と直接触れ合う授業が行われました。



<車両説明を受ける生徒たち>

<マニュアルを見ながら無線連絡を体験>

